

\*\* 2023年 9月改訂 (第6版)  
\* 2020年 1月改訂 (第5版)

医療機器届出番号 27B1X00051000018

機械器具 7 4 医薬品注入器  
一般医療機器 輸液用連結管 70399000

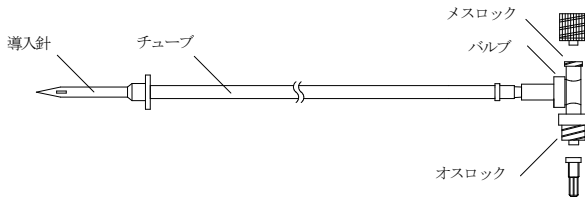
## 再使用禁止

## D I B セット

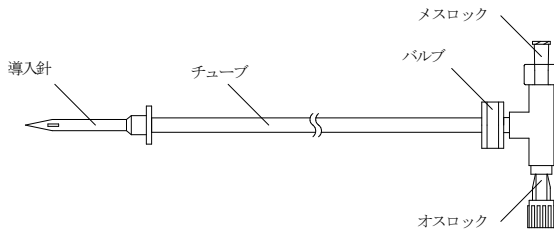
### 【禁忌・禁止】

- ・再使用禁止
- ・再滅菌禁止

### 【形状・構造及び原理等】



ISO 594-1/-2 (ルアーコネクタ規格)



ISO 80369-6 (神経麻酔用コネクタ規格)

本品は、チューブにポリ塩化ビニル (可塑剤; フタル酸ジエチルヘキシル) を使用している。

導入針、ロックコネクタには保護キャップが付く。

本品のロックコネクタには ISO 594-1/-2 (ルアーコネクタ規格) と ISO 80369-6 (神経麻酔用コネクタ規格) がある。

### 【使用目的又は効果】

薬液瓶内の輸液を他の医療機器に移すために用いる。

### 【使用方法等】\*

#### 準備

- 1) メスロックにシリンジを接合する。
- 2) オスロックに、使用する携帯型持続注入ポンプ (販売名; D I B カテーテル) を接合する。
- 3) 導入針のプロテクターを抜く。
- 4) 薬液の入ったバッグの排出口を上に向けて、導入針を少々回転させながら差しこみ、しっかりと接合する。

#### 薬液の注入

- 5) シリンジを引っ張り、バッグ内の薬液を吸引する。
- 6) シリンジに薬液が溜まったら、シリンジを押して携帯型持続注入ポンプへ薬液を注入する。
- 7) 携帯型持続注入ポンプに規定量の薬液が注入されるまで、5) から6) の操作を繰り返す。
- 8) 規定量の薬液の注入が完了したら、バッグ・携帯型持続注入ポンプ・シリンジの順にはずす。

### ＜使用方法に関連する使用上の注意＞\*

- 1) バルブの逆流を防ぐため、準備においては、薬液の入ったバッグは最後に接続すること。
- 2) バルブの逆流を防ぐため、薬液注入終了後は、最初に薬液の入ったバッグをはずすこと。
- 3) 薬液を注入する際は、携帯型持続注入ポンプは、台の上に置くなどし、バルブ部で携帯型持続注入ポンプを支えたりしないこと。  
[携帯型持続注入ポンプの重さにより、オスロック部が破損する恐れがある]

### 【使用上の注意】

- 1) 導入針はバックに確実に接合させること。
- 2) オスロックは携帯型持続注入ポンプの注入口に確実に接合させること。
- 3) シリンジはロック式シリンジを使用して、メスロックに確実に接合させること。
- 4) 導入針には直接手を触れないこと。
- 5) 脂溶性の薬液では、ポリ塩化ビニルの可塑剤であるフタル酸ジエチルヘキシルが溶出するおそれがある。

### 【保管方法及び有効期間等】

#### ■保管方法

水ぬれに注意して、直射日光及び高温多湿を避けて、冷暗所に保管すること。

#### ■有効期間

滅菌年月から3年以内 (自己認証による)

### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】\*\*

製造販売業者 三矢メディカル株式会社

販売業者 株式会社ディヴィンターナショナル  
TEL 03-5834-3288